

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2005-34131 (P2005-34131A)

【公開日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-006

【出願番号】特願 2003-376376 (P2003-376376)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	14/705	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月30日(2006.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されていてもよい、配列番号：1または配列番号：21で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列からなるペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 2】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されていてもよい、配列番号：1で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列からなる請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 3】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されている配列番号：1または配列番号：16で表されるアミノ酸配列からなる請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 4】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されている配列番号：21または配列番号：22で表されるアミノ酸配列からなる請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 5】

N末端のメチオニン残基がホルミル化され、C末端のイソロイシン残基が修飾されている配列番号：21または配列番号：22で表されるアミノ酸配列からなる請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 6】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されていてもよい、配列番号：17または配列番号：23で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列からなるペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 7】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されていてもよい、配列番号：17で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列からなる請求項6記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 8】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されている配列番号：17、配列番号：18、配列番号：19または配列番号：20で表されるアミノ酸配列からなる請求項6記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 9】

N末端のメチオニン残基がホルミル化されている配列番号：23または配列番号：24で表されるアミノ酸配列からなる請求項6記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩。

## 【請求項 10】

請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩を含有してなる医薬。

## 【請求項 11】

請求項6記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩を含有してなる医薬。

## 【請求項 12】

細胞遊走刺激剤である請求項10または11記載の医薬。

## 【請求項 13】

抗炎症剤である請求項10または11記載の医薬。

## 【請求項 14】

請求項1記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩に対する抗体。

## 【請求項 15】

請求項6記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩に対する抗体。

**【請求項 16】**

請求項 14 記載の抗体を含有してなる医薬。

**【請求項 17】**

請求項 15 記載の抗体を含有してなる医薬。

**【請求項 18】**

細胞遊走抑制剤である請求項 16 または 17 記載の医薬。

**【請求項 19】**

感染症の予防・治療剤である請求項 16 または 17 記載の医薬。

**【請求項 20】**

(1) 配列番号：2 で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する G 蛋白質共役型レセプター蛋白質、その部分ペプチドまたはその塩および (2) (i) 請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩または (ii) 該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性を变化させる化合物またはその塩を用いることを特徴とする該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性またはシグナル伝達を变化させる化合物またはその塩のスクリーニング方法。

**【請求項 21】**

(1) 配列番号：2 で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する G 蛋白質共役型レセプター蛋白質、その部分ペプチドまたはその塩および (2) (i) 請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩または (ii) 該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性を变化させる化合物またはその塩を用いることを特徴とする該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性またはシグナル伝達を变化させる化合物またはその塩のスクリーニング方法。

**【請求項 22】**

配列番号：2 で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する G 蛋白質共役型レセプター蛋白質が、配列番号：2、配列番号：4 または配列番号：6 で表わされるアミノ酸配列からなる G 蛋白質共役型レセプター蛋白質である請求項 20 または 21 記載のスクリーニング方法。

**【請求項 23】**

(1) 配列番号：2 で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する G 蛋白質共役型レセプター蛋白質、その部分ペプチドまたはその塩および (2) (i) 請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩または (ii) 該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性を变化させる化合物またはその塩を含有することを特徴とする該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 1 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性またはシグナル伝達を变化させる化合物またはその塩のスクリーニング用キット。

**【請求項 24】**

(1) 配列番号：2 で表わされるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する G 蛋白質共役型レセプター蛋白質、その部分ペプチドまたはその塩および (2) (i) 請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩または (ii) 該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性を变化させる化合物またはその塩を含有することを特徴とする該レセプター蛋白質またはその塩と請求項 6 記載のペプチド、そのアミドもしくはそのエステルまたはその塩との結合性またはシグナル伝達を变化させる化合物またはその塩のスクリーニング用キット。